

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和4年7月28日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒107-6211 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 代表取締役社長 カリン・ドラガン
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	CCBJI環境マネジメントシステム
適 用 範 囲	各工場の清涼飲料水製造における原材料・資材の受け入れから 製品出荷に至るまでの活動及び製品
導 入 年 月 日	2019年02月01日
認 証 番 号	登録番号：ISO14001-0071761
基 本 方 針	(環境関連抜粋) ・法的要求事項、顧客要求事項を遵守します。 ・環境負荷の軽減、地域社会と共生をしながら、生産性の向上および製造の効率化を実行します。 ・マネジメントシステムを構築し、効果的な運用を行い、継続的な改善を推進します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(令和4年度事業所目標として、製品1L当たり) ・エネルギー使用量の削減 原単位：1.16 MJ/L ・水使用量の削減 原単位：3.87 L/L
目標を達成するための取組の内容	・製造時間の創出によるユーティリティ使用量の効率化 …連続製造時間延長への取り組み 他工場事例のベストプラクティス展開 エネルギー、水削減プロジェクトの継続 エネルギー監視システム活用方法の確立による削減活動のルーチン化 公的資格の計画的な取得推進 ユーティリティ供給機器および環境トラブルの撲滅
目標を達成するための取組の進捗状況	・連続製造時間延長へ向けた各種検証の継続実施中 ・エネルギー、水削減プロジェクトからの他工場事例紹介と水平展開 ・エネルギー監視システムによる日々の原単位共有実施
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(令和4年1月～令和4年6月累計) ・エネルギー使用量の削減 原単位：1.04 MJ/L ・水使用量の削減 原単位：3.36 L/L  週次での各KPI値の確認と、環境目標達成のためのプロジェクト推進により、目標を上回る水準で推移している。
事業活動に係る法令の遵守の状況	・関係法令順守一覧を作成し、法規で定められている各種の測定、また届出等については常時確認し、違反等の問題が無いことを確認している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・週次で開催されるマネジメントシステム会議にて、各種取り組みについてのレビュー実施。 ・目標・取り組みについては大きな問題等がなため、同様のマネジメントシステムで運用。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。